

特集 流山市フィルムコミッション

**NYFC**

Nagare Yama  
Film Commission

## あの映画やドラマの あのシーンは流山!

平成17年(2005年)に設立した流山市フィルムコミッション。昨年10月に10年の節目を迎え、これまで撮影を支援した映画・ドラマ作品は約230本余りにのびります。そして今年も、流山で撮影が行われた6本の映画が公開予定で、そのうち1本は流山を舞台にしています。

今号では、流山が登場する作品を紹介するとともに、「なぜ、流山がロケ地に選ばれるのか?」、その魅力に迫ります。

☎マーケティング課 ☎7150-6308 ㊟45

今年も、流山市フィルムコミッション支援作品がぞくぞく公開!



フジテレビ  
木曜22時から  
放送中

## ナオミとカナコ

### 広末涼子さんが流山市役所に!

人気作家・奥田英朗さんの同名小説のドラマ化で、広末涼子さん(小田直美役)と内田有紀さん(服部加奈子役)の初共演が話題です。流山市フィルムコミッションでは第1話と第2話に協力し、特に第2話で流山市役所がたくさん登場しました。広末さんの出演シーンでは、市役所が警察署に様変わり。約1年ぶりの連続ドラマ主演となる広末さんは、前作(4面参照)でも流山を訪れており、流山市フィルムコミッションと縁のある女優さんの一人です。



市役所第2庁舎2階コミュニティ課のカウンターを使って撮影



### 流山おおたかの森駅東口側の道路がロケ地に



2016年末公開予定  
**DEATH NOTE**  
デスノート

©2016「DEATH NOTE」FILM PARTNERS

海外にもファンが多い注目作品のクランクインは流山でした。昨年11月、流山おおたかの森駅東口側の道路で、エキストラを含め100人近いスタッフと、バスを含む約20台の車両が集結する大がかりなロケが行われました。今回の主演俳優はだれか、公開はいつか、要チェックです。

### 家族を問う社会派作品をバックアップ

三浦友和さんが主演の映画です。撮影場所の選定が難しい作品でしたが、流山市フィルムコミッションは

## 葛城事件

©2016「葛城事件」製作委員会



2016年初夏、新宿バルト9他 公開予定

東葛地区と連携・協力して、柏市内などのロケをコーディネートしました。苦勞して調達した戸建て住宅は重要な舞台に。また、通りがかりの営業マン役に、市職員が自分の原付きバイクを持ち込んで挑みました。

### 文化会館が教習所に変身!

## 森山中教習所

MORIYAMACHU driving school  
©2016「森山中教習所」製作委員会



2016年夏公開予定

野村周平さんと賀来賢人さんが主演の映画です。文化会館の駐車場を教習所に見立て、入り口の階段は、主人公たちが教習所に入出入りするシーンなどで何度も登場します。文化会館のイベントがない日に撮影することや、駐車場を利用する一般車両の交通整理には苦勞しました。

### あの映画のシリーズに市内各所が登場



2016年公開予定  
近日制作発表!

昨年10月、市内の小・中学校と赤城神社で、主人公の少年時代のロケが行われました。「孤独な主人公は子どものころからウサギだけが気を許せる友達だった」という印象的なシーンや、将来仲間になる者たちとの出会いのエピソードが描かれる夜の神社のシーンなどが撮影されました。

### おおたかの森病院に織田裕二さんが!

流山市にほど近い、おおたかの森病院(柏市)が、同名の人気小説の映画化で舞台となり、昨年12月に主演の織田裕二さんと妻役の吉田羊さんが訪れました。

## ボクの妻と結婚してください



2016年秋 全国東宝系にて公開

©2016「ボクの妻と結婚してください。」製作委員会

撮影は実際に使われる「緊急処置室」などにカメラが入って行われ、緊急車両が到着するなどのハプニングもありました。

### 主人公の主婦が住むまちは流山!

## だれかの木琴

©2016「だれかの木琴」製作委員会



2016年秋公開予定

ロケ地全31カ所のうち、流山市内18カ所、柏市内2カ所という、東葛地区でも過去最大級の撮影規模の映画です(2面参照)。流山市フィルムコミッションはロケ地の選定から、スタッフが撮影現場で食べる“ロケ弁”の手配(4面参照)まで、約1カ月間の撮影を全面的にサポートしました。

### フィルムコミッションとは?

ロケ地提供で地域を元気に!

映画、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影を支援し、その地域での撮影に必要な情報を提供する機関です。主に都道府県や市町村などが担い、地域の経済・観光・文化振興に効

果を上げています。流山市フィルムコミッションでは、流山が撮影地となることで、市民の皆さんが、あらためて自分の住むまちの魅力に気付くきっかけになれば、と考えています。



# ついに流山が映画のメイン舞台に!!



年明け早々の朝の流鉄流山線。車内にひしめく撮影隊に遭遇した方はいませんか？ それは、映画「だれかの木琴」の撮影隊です。主人公は「流山に住んでいる主婦」という設定の同作品は、流鉄流山線のほか、市内18カ所ものロケ

地で撮影が行われました。東陽一監督に「流山で撮ることで、血の通った作品になる」と選ばれたなががまち。いくつかの撮影シーンとともに、作品をご紹介します。

## 「だれかの木琴」ってどんな作品？

だれもが抱えている人間の深層に迫る作品

夫と中学生の娘とともに、郊外へ越してきた主婦が主人公。美容師の青年と出会ったことで、平穏だった日常から少しずつ逸脱していく様子を描いています。生活の豊かさや安定とは裏腹に、夫婦や家族間でさえその関係性が希薄になっている現代社会。そのありようを見つめ、「私たちは常に誰かと共にしか生きられない」というメッセージを、流山の風景の中で響かせる作品です。



原作は直木賞作家・井上 荒野さんの同名小説

原作は、井上荒野さんの同名小説「だれかの木琴」。映画化に当たり、井上さんから次のようなコメントをいただきました。

自分の小説が映画化されるというのは、どうであれうれしいものですが、「だれかの木琴」は特に、映画になったら面白いものになるだろうと夢想していた一編です。大ファンである東陽一監督に撮っていただけるのが、うれしくて仕方ありません。この原作は「怖い」物語ですが、ストーカーの行為が怖いのではなく、一人のごく普通の主婦が、少しずつ、どうしようもなくストーカーになっていくところが怖いのです。その怖さがじわじわ伝わってくる映画になるとと思います。  
(作家・井上 荒野)



市内飲食店の前で撮影指示を出す東監督



美容師の青年が住むアパートでカメラワークを確認



## 多様な風景の広がる「まち」を求めて

「だれかの木琴」プロデューサー 山上 徹二さん

物語の舞台となる「郊外のニュータウン」のロケハン(注)には特に力を入れました。「新しい家が建ち並ぶだけ」の風景では映画全体の印象が弱くなってしまわないよう、川や森などの豊かな自然の風景があり、懐かしい感じのする街並みも残っていて、さらに風情のある電車が走っている。そんな撮影場所を求めて、東京近郊のまちをいくつもロケハンしました。

そんな中で、今回メインロケ地として「流山」を選ばせていただきました。多様な風景の広がる「まち」のイメージが、監督の構想に大変近かったことが理由です。そして、流山市フィルムコミッションの方の映画に対する情熱と細やかなサポートが、大きな決め手となりました。地域に関するさまざまな情報や知識、撮影に関する経験値など、撮影スタッフにとって「心強いパートナー」になっていただき大変感謝しています。

(注) ロケハン：撮影場所を探す作業



流山駅から流鉄流山線に乗り込み、車両を借り切って撮影



主人公が住む家での打ち合わせの様子



平和台駅と鱈ヶ崎駅間の踏切で撮影

## 東監督に聞く

## なぜ、流山だったのですか？

人が風景になじんでいることが魅力的でした

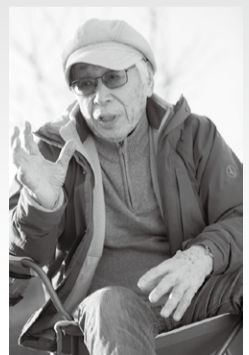
「だれかの木琴」監督 東陽一さん

映画化に当たっては、まず美容師役の青年を原作にあるようなメゾネット風のアパートに住ませたいと考え、物件探しから始まりました。そこへ流山市フィルムコミッションの方が格好のアパートを見つけてくださり、実際に来てみると自分の幼いころを思い出すような流鉄流山線が走っていて、僕の気持ちは一気に流山に傾きました。

映画は人間を描くものですから、登場人物が暮らす場所やまちは重要なポイントです。そうした視点から撮影場所を決めていくわけですが、流鉄流山線に乗ってくる方

ちの表情、市内飲食店の方たちの対応などを見て、非常に良い印象を受けました。また、登場人物一人ひとりの人生をしっかり描くために、ロケ地はバラバラにしたくなかった。多くのシーンを流山で撮ることで、リアリティのある、血の通った作品になると思いました。

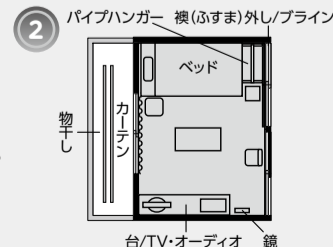
流山市フィルムコミッションの方には、素晴らしいサポートをしていただきました。関東地方にフィルムコミッションは多いですが、全国有数の人気というもうなずけます。フィルムコミッションと映画人は、観光振興にもっと大きな役割を果たしていくべきですね。僕が映画づくりで表現したいのは、人間のバックに風景がただあるのではなく、人間が風景の中で生まれ生きていくということ。流山は、そんな映像作品に今後も登場してほしいまちです。



## ロケ現場はこうして作られる



脚本の設定によって選ばれたメゾネット風のアパート。部屋の主は、「20代の一人暮らしの青年で職業は美容師」という設定。



図面を引いてベッドなどの家具の配置を決め、イメージを練る。



寝室となる2階の部屋。



図面をもとに家具を入れ、完成した部屋。



# 流山市フィルムコミッションの魅力 なぜ、流山が注目されるのか？

フィルムコミッションとして映像制作に協力していくことは、具体的にどのような効果が期待できるのか。なぜ、流山がロケ地に選ばれるのか。専門家の方、お二人に語っていただきました。

## ロケ地誘致で 知名度アップ。 経済効果も期待できる。



「ロケーションジャパン」編集長 山田 実希さん  
「ロケナビ!」マネージャー あぐろ みちあき 安黒 道晃さん

**山田**：ドラマの撮影地の成功例としては、平成25年に大ヒットしたNHKの朝ドラ「あまちゃん」があげられます。岩手県久慈市に32億円とも言われる経済効果をもたらしました。流山市フィルムコミッションも、これまでの実績を見ると非常に健闘しています。

**安黒**：流山市フィルムコミッションは10年という歴史を持ち、ほかと比べても受け入れがしっかりしていて、平成26年度は44件もの撮影が行われました。その陰には、担当者の長年にわたる地道な仕事ぶりが映像制作者に「ロケ」で広まったということがあります。駅前など公共の場所で撮影ができること、都内からの交通アクセスがよいので人気です。

**山田**：アクセスのよさは、ファンなどのロケ地めぐりにも都合がよいということですね。観光庁のロケツーリズム連絡会では、ロケを契機にした観光振興のあり方がテーマとなっています。最近では、静岡県河津町がテレビ東京のドラマ「孤独のグルメ」を誘致し、わさび丼が取り上げられて全国からファンが殺到しました。

**安黒**：流山にも、みりんや利根運河、蔵のある街並み、新選組、流鉄流山線などの資源があります。そうした個性をアピールできる作品を、誘致できたらよいですね。今後は海外作品の誘致も増えてくるでしょう。東京に近い強みを持つ流山には、「日本のハリウッド」と呼ばれるような場所になってほしいですね。

## 流山市フィルムコミッション はどんな仕事を しているの？

映画やテレビドラマ制作者の依頼に合わせて市内の撮影地を紹介し、実際の撮影をスムーズに進めるためのさまざまな支援を行っています。設立から10年で他自治体の視察を受けるほどのフィルムコミッションに成長しましたが、難しいのは撮影依頼を受けることよりも断ることです。相手が求めるイメージを紹介できない時は、別のシーンとのマッチングを探ったり、次回につながるような提案をしています。



雨のシーンを撮るために、映画スタッフとともに水をまく流山市フィルムコミッション担当(右)

撮影地としてくり返し流山が選ばれるのは、ロケ地に合う建物や映像作品にしたい風景があり、豊かな表情を持つまちであるからだけでなく、市民の皆さんのご協力があるからです。ぜひ、流山市フィルムコミッションの最新情報をチェックしてください。

フェイスブックにて情報発信中

流山市フィルムコミッションの最新情報はこちらから!



### 「ロケーションジャパン」

映画やドラマのロケ地や舞台を通して、地域の魅力を発掘・発信する情報誌



### 「ロケナビ!」

<http://locanavi.com>

映画やドラマの撮影に使えるロケ地の情報などを検索できる業界No.1サイト

## 私たち制作担当者が流山をロケ地に選んだ3つの理由



### 甲斐 恵美理さん

ドラマ「MOZUシリーズ」、映画「カラスの親指」など担当

- 1 都心から一時間圏内
- 2 フィルムコミッションが協力的
- 3 個人的理由ですが、私の地元です

市民の皆さんがとても協力的でした。田んぼや土手、林など自然が残る一方で、整備された新興住宅地、私の学生時代にはなかった新しい駅などの都会的な風景など、さまざまな顔を持っている魅力のロケ地です。流山市フィルムコミッションの方には、いつもたくさんの時間と知恵をいただき、感謝しています。



### 岩崎 亜衣子さん

ドラマ「探偵の探偵」など担当

- 1 都心から近い
- 2 急なお願いにもすぐ対応してくれる
- 3 撮影に協力的

急なお願いが多い連続ドラマ制作に、素早いフットワークで対応してくださった流山市フィルムコミッションの方はもちろん、お借りした施設の方や通りがかった方々も、とても協力的でした。不安だった日曜日の商業施設の撮影も、誘導や説明のプラカードなどで万全のサポートをしていただき、スケジュール通りに終えることができました。



### 石鍋 京子さん

ドラマ「医師たちの恋愛事情」・「ほんとにあった怖い話2015」など担当

- 1 都心から近く、アクセスがよい
- 2 相談に対するフィルムコミッションのレスポンスが早い
- 3 都内では難しい許可申請なども、柔軟に協力してくれる

都会的な街並みも田舎の風景もあり、まちの方々も快く撮影を受け入れてくださる魅力的なまちです。流山市フィルムコミッションの方の、どんな無理難題も投げ出さない細やかな対応は素晴らしいと思います。ドラマで重要な桜のシーンの撮影では、何れもロケ地を紹介くださり、開花状況もまめにご報告くださいました。



### 和氣 俊之さん

映画「百瀬、こっちを向いて。」・「葛城事件」など担当

- 1 撮影隊への積極的な協力体制
- 2 既存ロケ地紹介だけでなく、新規ロケ地探索のフットワークの軽さ
- 3 撮影でご迷惑をかける市民の方へのきめ細かなフォロー

流山市の方々の撮影に対する理解度の高さには驚きました。流山市フィルムコミッションの方とは長いお付き合いですが、いつも難しい要望に対応していただき感謝しています。流山市内はもとより、近郊の現場へも土・日曜を返上して足を運んでいただき、ロケ地紹介やエキストラ募集など、ご協力いただいています。



# 流山市フィルムコミッションデータ

## 全国映画ロケ地ランキングで流山市は健闘の第6位!

全国のフィルムコミッション (FC) が過去5年間 (平成23年～27年) にロケを誘致した映画の作品数を集計したところ、流山市フィルムコミッションはなんと6位にランクイン。上位はすべて茨城・沖縄など都道府県のフィルムコミッションで、市単独のフィルムコミッションである流山市の健闘が光ります。

1位	いばらきFC	264作品
2位	沖縄フィルムオフィス	54作品
3位	滋賀ロケーションオフィス	37作品
4位	富士の国やまなしFC	34作品
5位	栃木県FC	29作品
6位	流山市FC	24作品
7位	北九州FC	23作品
7位	神戸フィルムオフィス	23作品
9位	駿河湾沼津FC(ハリプロ映像協会)	21作品
10位	なごや・ロケーション・ナビ	20作品

※「日経エンタテインメント!」(2015年11月号より)

## もっとも撮影回数が多いのは上下水道局!

流山市上下水道局がサスペンスドラマの警察署に大変身!? 実は外観も中身も警察署の設定にうつてつけなのが上下水道局。会議室は合同捜査本部や取調室となり、普段市職員が仕事をしているフロアは刑事課や交通課などに様変わります。



上下水道局の外観

両側に部屋のある長い廊下も、刑事役の2人の俳優さんが火花を散らしてすれ違うシーンなどに最適な舞台。また、雑居ビルに見立て、立てこもり事件の撮影に使われることもあります。

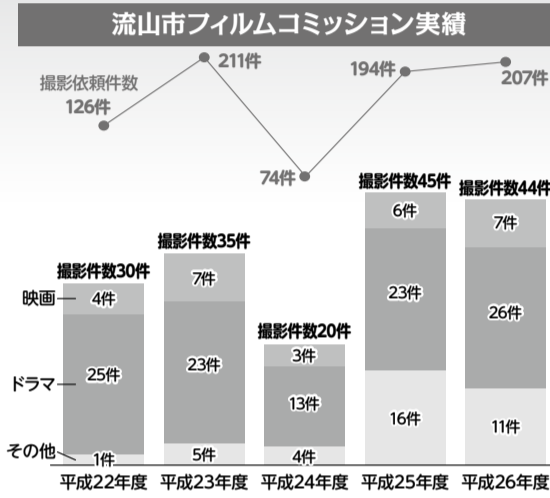


合同捜査本部などの撮影に使われる大会議室

なお、市内の主なロケ地は、市ホームページ (ID45) でご覧になれます。

## 5年間で知名度もアップ!

撮影実績はこの5年間で確実に伸びており、映画・ドラマ制作者の間で「流山」の知名度もアップしていると言えます。今年も流山で撮影が行われた、たくさんの作品が公開・放送されます。ご注目ください。



## 流山市フィルムコミッションと縁が深い俳優さんは?

複数回訪れている俳優さんは数え切れませんが、流山市フィルムコミッションに縁が深い方は、フジテレビで放送中の「ナオミとカナコ」主演の広末涼子さん。平成26年のNHKドラマ「聖女」や、映画「想いのこし」も流山での撮影シーンがありました。



広末涼子さん (フジテレビで放送中の「ナオミとカナコ」より)

また、斎藤工さんも流山には馴染みが深く、5年前にテレビ東京で放送されたゴールデンタイムの連続ドラマ初主演作「最上の命医」では、市総合運動公園での撮影の合間にサッカーを楽しんだというエピソードもあります。

## 市内レストランの特製ロケ弁も好評!

市内でのロケ弁 (注) は、年間約350万円 (平成23年～26年の平均値) の経済効果を生んでいます。映画「だれかの木琴」(2面参照) では、流山市フィルムコミッションの提案で、管理栄養士のビストロとして「1食当たり塩分2g未満の減塩ランチ」が人気の「EIZEN」(加6丁目) が、ロケ弁づくりを担当。撮影現場に「減塩のロケ弁」という新風を届けました。

(注) ロケ弁：ドラマや映画の撮影中、現場で食べる弁当のこと



「減塩のロケ弁」メニュー

- 白身魚の濃厚パルメザンシチュー
- バター香るかぼちゃとキノコのエチューベ
- 小松菜&ニンジン&モヤシのナムル
- 豚肩ロースのハニーマスタードソース
- 押し麦ごはん

「いやあ、今日の昼の弁当にはやられました。少し早めだったからお腹は空いてなかったのに、箸が進んでしまいました。野菜のナムルなんて普段は箸をつけないだけどうもかかったし、お肉はもちろん、押し麦ごはんもおいしかった。そんなに塩分が控えめなの? そうは感じなかったな。最近ロケ弁は完食しない僕がほぼ完食。ごちそうさま!」(談：東監督)

## 井崎市長からのメッセージ

### 都心から一番近いロケのまち、流山

流山市フィルムコミッションは、設立して10年が過ぎました。これまで市内各所で映画やドラマの撮影が行われましたが、映画やドラマの撮影支援にとどまらず、上映や放送のタイミングや話題に合わせて市のPRにつなげるという、流山ならではの「流山式フィルムツーリズム」を目指しています。



流山市長 井崎 義治

市内には魅力的な撮影地がまだまだあります。そうした場所を掘り起こし、撮影に使っていただくことで、市民の皆さんが住んでいるまちに魅力を感じ、誇りを持っていただければと思います。もし、市内で撮影に出会った場合は、温かく見守ってください。

## 「いつもと違うロケ弁、いいね」と言っていたら...

EIZEN オーナー 高野 翠さん

寒い中の撮影ですから、体を温めて免疫力&集中力アップできるメニューを考え、汁物としてシチューも添えました。化学調味料不使用の減塩ヘルシーランチを東監督にも気に入っていただけたようで、うれしいです。流山市フィルムコミッションを応援しながら、EIZENも「管理栄養士の作るロケ弁」を新しい挑戦にしていきたいです。



## ロケハン体験&フィルムコンテスト in おおたかの森センター

流山市フィルムコミッション担当と江戸川大学の学生が、撮影時のエピソードなどについて対談します。また、仮定の映画のシーンを設定し、その撮影場所を探すロケハン体験も実施。スマートフォンなどで撮影し、その魅力を参加者間で共有します。

- ◎日時 — 2月24日(水)
  - ①対談：10時～10時30分
  - ②ロケハン体験：10時40分～12時
- ◎場所 — おおたかの森センター
- ◎定員 — ①100人 ②15人 (いずれも先着順)
- ◎費用 — 無料
- ◎持ち物 — スマートフォン、またはカメラ機能付きタブレット端末
  - ※お持ちでない方はご相談ください。
- ◎申し込み — 電話または窓口へ (9時～21時)
- ◎問い合わせ — おおたかの森センター ☎7159-7031

## 流山でおすすみのロケ地は? アンケートに答えた方に抽選でプレゼント!

次のアンケートにお答えいただき、ご応募ください。

- Q1 市内で映画・ドラマの舞台として撮影してほしい場所はどこですか?
- Q2 上記を選んだ理由は?
- Q3 どんなシーンに使ってほしいですか?

### 応募方法

ハガキに住所、氏名(ふりがな)、電話番号、アンケートの答え、希望のプレゼント番号(1つ)を明記の上、2月25日(必着)までに、☎270-0192 流山市役所マーケティング課へ

### プレゼント内容

- ①映画「だれかの木琴」脚本(東陽一監督サイン入り)…3人
- ②ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」(2016年2月号)…10人
- ③映画「ちはやふる—上—の句—」試写会招待…5組10人 (3月10日(休)18時30分から、TOHOシネマズ流山おおたかの森)
- 応募者多数の場合は抽選。当選は発送をもってかえさせていただきます。
- ☎マーケティング課 ☎7150-6308



©2016 映画「ちはやふる」製作委員会 ©末次由紀/講談社「競技かるた」にける少女を主人公にした青春映画です。主演：広瀬すず 3/19より全国東宝系